

子ども達による広報紙

昨年8月号から市内小学校(8校)・中学校(3校)・高校(2校)による子ども達の手づくりによる広報紙を特集しています。テーマ、写真、取材、編集、構成までを一貫して行っていただきました。

今回の特集記事では、最初に禾生第二小学校、次に東桂中学校の特色ある活動を内部からの視点で紹介させていただきます。さて、来月号はどこの学校かな？

禾生 第二小学校



学校遠景



校舎



ビオトープ

禾生第二小学校の概要

禾生第二小学校は明治六年谷村小学校分校として開校し尾県小学校、田野倉小学校、禾生尋常小学校に合併、昭和二十五年四月一日に禾生第二小学校となりました。平成十五年度は、児童数百七十二名、教職員十三名で毎日明るく学校生活を送っています。

学校教育目標(十五年度)

生きる力をはぐくむ

禾二小の子

- 自ら学び自ら考える子ども
- 思いやりのある子ども
- きまりを守り協力する子ども
- 健康でたくましい子ども

《学校の特色》

児童・学校・地域の特色を生かし、自然との調和や体験交流学习による特色づくりを行っています。本年度は平成十三年度より開始した学校ビオトープが完成し、学習に大きな成果を上げています。

【児童会・学校行事から】

児童会の本年度の活動テーマは、「仲良く思いやりがあふれる禾二小」「何事も全力で取り組む禾二小」です。そのテーマのもとに、具体的な活動方針として、縦割り班などを活用した楽しい集会を開くことやあいさつ運動や助け合い運動に積極的に取り組むこと、きまりを守って仲良く協力すること、学校の美化に努めることなどを柱において活動に取り組んできました。

執行部を中心として、福祉環境・体育・放送・給食・図書・保健委員会の七つの委員会がそれぞれの日常的な活動や集会活動などをとおして、テーマの達成や目標の具現化に取り組んできました。ここでは、その主な活動や集会について紹介をします。

四月 一年生を迎える会

二十三名の新一年生に、早く学校になれてみんなと仲良くなつてほしいという願いをこめて、執行部を中心に集会を計画しました。二年生以上の各学年が、楽しい出し物を披露して一年生に見てもらったり、一緒に楽しいゲームをしたりしました。一年生のみんながとても楽しそうでした。

七月 スポーツ集会

縦割り班活動をとおして、異学年との交流を図ることと、高学年のリーダー性を培うことをねらいとして、集会を実施しました。大縄跳び、ボール運び、リレーなどを計画して、当日までに縦割り班ごとに休憩時間などを利用して練習しました。当日は、天候の関係で最後までできませんでしたが、各縦割り班がリーダーを中心に事前の取り組みなどを含めて、よくがんばったと思います。



縦割り班



運動会

九月 秋季大運動会

当日は天候にも恵まれ、思い出に残る運動会を実施することができました。赤・白・青・黄の四チームに分かれて熱のこもった競技や演技で、一年生から六年生までみんなよくがんばりました。

一・二年生のかわいいリズム、三・四年生の元気なキャタピラ競争、五・六年生の真剣な組み立て体操など、どの演技も大きな歓声と拍手をいただきました。優勝も最後の種目までわからないという大接戦の中、大いに盛り上がった運動会でした。



サツマイモ掘り

十一月 図書集会

図書委員会が中心になって計画しました。当日は、市内の読み聞かせグループのこぶたの会の皆さんに来ていただき、「じゅげむ」の朗読や楽しいリズム遊びなどを教えていただきました。

また、読書週間中にたくさん本を読んだ人の表彰もあり、楽しいひとときを過ごしました。読書の楽しさや大切さがあらためてよくわかりました。



図書集会

十一月 福祉講話

福祉環境委員会を中心に計画しました。視覚障害者の方をお招きし、講話を聞かせていただきました。今までのご苦労やそれに負けずに生きてこられたお話などを聞いて、あらためて、人を思いやることの大切さと何事にもくじけずに前向きにがんばっていく勇気を与えられたすばらしい会でした。とても有意義な会でした。



福祉講話

十一月 禾二つ子集会

禾二つ子集会とは、四年生以上の各学年が、二つから三つの出店を計画・準備し、一年生から六年生のみんながそれぞれの出店を回って、楽しい時間を過ごすという集会です。当日は、ボウリング、ダーツ、風船ゲームなどの出店、おぼけやしき、サスケなどの出店がありました。全部で九つのお店がありました。各店とも工夫をこらし、楽しい内容のものでした。また、お店の運営も交代制で協力して実施しました。みんなとても楽しい時間を過ごすことができました。よい思い出になりました。



秋の集会

十二月 給食集会

給食委員会が、大型紙芝居を使って、野菜の大切さについて教えてくれました。野菜に含まれている栄養素や野菜が体の成長にとっても大切だということがよくわかりました。また、野菜についての〇×クイズも楽しかったです。

本年度のこれまでの主な活動や行事などを紹介しましたが、これ以外にも、各委員会の日常的な活動など、様々な活動ががんばっています。

執行部や六年生を中心に、全学年が心をひとつにして、充実した一年間となるように気を引き締めて、これからもがんばっていきたいと思っています。三学期には、新執行部を中心とした卒業生を祝う会などが予定されています。有意義な一年間となるようにがんばります。



太陽自然光・風力発電灯

東桂中学校



【学校の概要】

東桂中学校は昭和二十二年に開校しました。現在地に移転したのが昭和三十二年十二月十一日であり、この日が創立記念日になっています。学区は十日市場、桂町、上夏狩、下夏狩、境、宮下、古渡、沖、蒼竜峡で、東桂小学校が学区内の小学校として近接しています。

現在の生徒数は二八〇名。今年度の生徒目標「あたりまえのことを大切に」のもと、学校生活をお互いに高めあいながら先生方とともに活気ある毎日を過ごしています。

【チューター活用事業】

本年度、文部科学省の「放課後学習チューターの配置等に係る調査研究指定校」として二年間の指定を受けました。

「学習チューター」というのは、実際の教育現場に参加し、現場の教師と連携をとるなかで授業時の個別指導・放課後の学習支援・日本語指導・部活動などの指導協力を行う教員志望の大学生を指します。

本校は市教育委員会、都留文科大学と連携をとり、全国に先駆けて、この事業を行ってきました。

この「チューター活用事業」により、生徒一人ひとりへのきめ細やかな指導がより一層展開できるようになり、学習の幅も大きく広がりました。

さらに学生の教員としての資質向上も目指せるなど、教育の未来へ向け、様々な面で効果が期待されています。



【生徒会活動】

今年度の東桂中学校の生徒会は、スローガン「新心気鋭（新たな心で勢いのあるという意の造語）」、「サブテーマ」質と心を磨き上げるをもとに活動を行ってきました。このスローガンを実現するために私たちは、

- 「ポランティア」
 - 「環境」
 - 「礼儀」
- の三つを活動の柱に据えて活動を行ってきました。

『三本柱』について

東中では今年度、委員会活動の活発化を目指す動きも始まりました。それでは、八つの委員会を代表してポランティア委員会、美化委員会、生活委員会の活動報告も織り交ぜながら、今年度の三本柱について説明したいと思います。

○ポランティア

三本柱の一つである「ポランティア」を活発化するため、ポランティア委員会を中心に、活動を行ってきました。

今年度は、集めたベルマークやアルミ缶、プルタブの成果として、ポランティア委員長の志村香織さんと副委員長の平井美香さんが学校を代表し、いきいきプラザにラジカセを寄付することもできました。

また、毎年行っている歳末助け合い運動では昨年度の倍以上の成果も表れました。これらの活動から今年度、社会福祉協議会から表彰を受けることができました。

一人ひとりの意識が高まり、今年度東中のポランティア活動は著しく発展しました。



いきいきプラザ都留にて

○環境

美化委員会を中心に教室内の環境を調べる点検が昨年度に引き続き行われ、環境への高い意識を持ち、教室内はきれいに保たれるようになってきました。また掲示物の破れなどもすぐに修正することができ、学校環境はより過しやすいものになりました。

来年度は活動の目を外に向け、より高いレベルの活動に発展させていくことが生徒総会でも確認されました。



○礼儀

大きく分けて二つのことに取り組みました。

まず一つ目に、制服をしっかりと着るよう取り組みを行いました。生活委員会の行う「服装点検」では、男女別に点検項目を作り、各クラス単位で守られていない項目数をチェックし朝の放送で結果を発表しています。これらの活動により、全校で意識を高めあうことができ服装の乱れていない人はほとんどいなくなりました。

二つ目として、TPO(時・場所・場合)を考えた行動ができることを目指しました。達成するために、まず体育館での集会はマイクを使用しないで行うようにしました。その結果、話す側は大きな声で、聞く側は静かに集中して参加することができるようになりました。より質の高い集会在展開できるようにになりました。

最大行事「桂鮎祭」

「文化の部」

九月十三日、生徒会最大行事「桂鮎祭」が行われました。

初日の文化の部では、迫力ある空手の発表や音楽部の素晴らしい演奏が個別発表として行われ、体育館中に響きわたった全校合唱も見事でした。

学年発表では、一年生は「地域の歴史」、二年生は「ゴミ問題」という総合学習テーマを基にした発表を行いました。最上級生三年生が、「日本の文化」として劇を織り交ぜながら創作ソーラン節と太鼓の発表を堂々と行うと、会場は感嘆の声で包まれました。

文化の部目玉の一つ、全校生徒で作あげた共同作品発表では、流れを力強く上る鮎の巨大なモザイクアートが体育館の壁面いっぱい姿を現すと会場から大きな歓声があがりました。文化の部は取り組み段階も含め、充実した心に残るものとなりました。



3学年創作ソーラン節

「体育の部」

翌十四日、文化の部に引き続き体育の部が行われ、桂鮎祭テーマ「東中魂」二八一人の力」の下、全校生徒白熱した戦いが繰り広げられました。

今年は縦割り系列種目も含め、新しい競技も多く導入されました。この競技によって先輩、後輩の友好関係もより一層深まったといえます。

体育の部の締めを飾る伝統のムカデ競走は、男女別クラス対抗で行われました。学年枠を越えた心強い系列毎の応援もあり、全員が最後まで心を一つにがんばることができました。この体育の部を通じて全校生徒が一つとなり、大きな感動が得られました。



当日に向けた(石拾い)

「ポスター投票」

桂鮎祭では毎年本部が優秀ポスターを選考していましたが今年は先生方を含め全校による投票形式で行いました。これにより『皆の意見反映』がなされ、とても好評でした。

優秀六作品から全員で選びました



【合唱発表会】

十一月十二日に、本校の伝統行事である合唱発表会をうぐいすホールにて行いました。

昨年度までは、一位として優秀賞を決めていましたが、今年は順位を決定せず発表会形式で行いました。このこと

によって各クラス優劣よりもさらに大切なものを目指す貴重な経験ができ、団結し精一杯歌を歌うという、より高い意識へと変わりました。全校合唱「大地の歌」も、うぐいすホールいっぱい響き渡り、お客さんから大きな拍手を頂くことができました。

歌い終わったあとの全校一人ひとりの顔には達成感が溢れていました。この合唱発表会を通じて、本当の意味での歌う喜びが得られた気がしました。



全校合唱(大地の歌)

【新しい活動】

「目安箱」

生徒会活動をより活発にするため、今年新たに全校から意見を募集する『目安箱』を各階に設置しました。これにより皆が気軽に意見を出すことができ、実際に新しい活動の企画・取り組みの工夫にも役立っています。

「瓦版」

東中では集会や行事毎に生徒会新聞を発行し、全校生徒の目に止まる校内の場所に『瓦版』を掲示してきました。

今年度は、地域の方々にもぜひ自分達の行っている活動を知ってもらおうと思い、その手段として『生徒会新聞瓦版』を作りあげました。十一月から十二月にかけてはY.L.O、年末年始は近所のスーパーマーケットにお願いし掲示して

もらいました。

これからも市内各地を転々と掲示させてもらっていく予定ですので機会がありましたらぜひご覧ください。



生徒会新聞(瓦版)

【部活動】

東桂中学校には現在、次の十一の常設部があります。季節部として活動する陸上部も含め、県大会入賞者から自分高めするための努力を続ける者まで、それぞれ目標を掲げ日々がんばっています。また、特技を生かした活動を行う桂鮎部では空手で全国優勝を果たした生徒もいるなど、多彩な活動が展開されています。

- ・野球部
- ・バスケットボール部(男女)
- ・バレーボール部(男女)
- ・卓球部(男女)
- ・サッカー部
- ・テニス部
- ・ソフトボール部
- ・音楽部
- ・文化部
- ・コンピュータ部
- ・桂鮎部